アスリート	コース	2023年度シラバス（英語）	開志国際高等学校

科目	論理表現Ⅰ	学年	第1学年	開講	通年	2	単位

教科書：MY WAY Logic and Expression Ⅰ
副教材：MY WAY Logic and Expression Ⅰ ワークブック

1　学習の到達目標

ことば、文化、民族の多様性とその共存を国際理解の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神の育成を図るとともに、特に「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の活動を通して、ことばと人間との関係やことばと社会との関係など広くことばへの関心を高め、豊かな言語観を育てる。

2　学習計画及び評価方法

a　知識技能
b　思考・判断・表現
c　主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考査	評価の観点 a	b	c
前期	L1	Let's Talk about Ourselves	現在形（be動詞）	be動詞の現在形の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて言ったり書いたりする。	4	中間	○	○	○
			現在形（一般動詞）	一般動詞の現在形の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて説明する文を言ったり書いたりす			○	○	○
	L2	School Life	過去形（be動詞／一般動詞）	好きだった教科について、動詞の過去形や教科を表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合			○	○	
			現在進行形／過去進行形	動詞の過去形の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて言ったり書いたりする。			○	○	○
	L3	The Arts	未来表現	週末の予定について、未来表現やイベントを説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合	5		○	○	
			基本時制（現在形／過去形／未来表現）のまとめ	未来表現の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて言ったり書いたりする。			○	○	○
	L4	Food and Culture	現在完了形①（完了／経験）	日本の食文化について、現在完了形（継続）等や各国の食べ物を表す表現等を用いて、事実や自分の考え、気持ちを正確に書			○	○	○
			現在完了形②（継続）／現在完了進行形	現在完了形（継続）等の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて説明する文を言ったり書いた	6		○	○	○
	L5	Welcome to Our Town	助動詞（can／may／must／have to／should）	地域の特徴等について、受動態や地域の特産品を表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、発表する。			○	○	
			受動態	受動態の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて説明する文を言ったり書いたりする。	7	期末	○	○	
	前期　授業評価						○	○	○
後期	L6	Traveling Abroad	不定詞①（名詞的用法／形容詞的用法）	買いたいおみやげについて、不定詞（名詞的用法、形容詞的用法）等を用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合	9	中間	○	○	
			不定詞②（副詞的用法／原形不定詞）	不定詞（名詞的用法、形容詞的用法）の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて言ったり書			○	○	○
	L7	Sports	動名詞	分詞による後置修飾、分詞構文の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人等について説明する文を言ったり書いたり			○	○	○
			分詞による後置修飾／分詞構文	スポーツ選手の特徴について、"Who am I?" クイズの表現などを用いて、事実を整理し、伝え合う。			○	○	
	L8	Everyday Technology	比較①（比較級）	比較（最上級、同等比較）の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて説明する文を言ったり書い	10		○	○	○
			比較②（最上級／同等比較）	翻訳機が発達した状況について、賛成意見や反対意見を言うための表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、	11		○	○	
	L9	Take Care	関係代名詞①（who／which／that（主格・目的格））	関係代名詞（目的格の省略など）の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人等について説明する文を言ったり書いた			○	○	○
			関係代名詞②（目的格の省略／whose／what）	健康維持に必要なことについて、意見を述べ合うの表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、伝え合う。			○	○	
	L10	SDGs — Take Action!	関係副詞	仮定法の特徴やきまりに関する事項を確認する。身近な人やものごとについて説明する文を言ったり書いたりする。	12		○	○	○
			仮定法	友だちについて、感謝を伝えるの表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、正確に書く。			○	○	○
	後期　授業評価						○	○	○

3　評価の観点

特に「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の活動の上で必要な、言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、中学校までに習得した能力を更に伸長させながら、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション能力を養成できたか。

4　観点別評価の評価基準

3観点	評価方法	
知識・技能	・定期考査・小テスト等	英語を読み・書き・話すために必要な音声・語彙・文構造・文法を理解し、英語を運用するための技能を身につけていること。
思考・判断・表現	定期考査・プロジェクト・プレゼンテーション・グループワーク等	さまざまな課題を通して身につけた知識や技能を使って、英語を読み、聞いたときに、内容の概要や要点を把握できること。自分の意見や気持ちを英語では無し、書いて、相手に伝えることが出来ること。
主体的に学習に取り組む態度	・授業態度・提出物等	・英語を勉強する意義や必要性を理解し、実際に使ってみようとする意欲や態度・・自分の英語力や学習状況を把握し、学習方法などを自ら改善しようとする態度。。・設定された期限までに課題を完成させるのに必要な時間管理能力。